



一中だより

令和6年度 第15号 令和6年12月6日(金)

それは、あなた次第です

最近、ふとしたことで9月に実施した環境教育講演会
での一コマを思い出す機会がありました。



今年の環境講演会は、南千木町にある UCC(上島珈琲株式会社)の工場長さんと副工場長さんを講師として招き、同社の取り組んでいるサステナブルな活動(事業)を教えていただくものでした。具体的には、ペットボトルをより薄くしてプラゴミの量を減らすとともに潰しやすくして回収を容易にする、アルミ缶の回収率を高めリサイクルを推進するなどの取組をお聞きしました。紹介された数々の取組は、企業による社会貢献活動の一端としていずれも学ぶべきことが多く、私たちの日々の生活を見直すよい機会ともなる有益な時間でした。

私にとって講演会で最も心に残ったことは、最後に行われた質疑応答でのやり取りでした。それは、次のようなものでした。

生徒：「ペットボトルとアルミ缶では、どちらがよりエコなのですか？」

工場長：「それは、あなた次第です。あなた次第で如何様(いかよう)にもなります。」

『工場長さんはどちらをエコと答えるのだろうか』と関心を持って私は耳を傾けていましたので、「それは、あなた次第です。」という応答に驚くとともに物事の本質を突いていたことに感銘を受けました。ルールや仕組みがどんなに優れていても、当事者が適切に運用・活用・対応しないと効用が低下したり主旨や主意から離れて無意味になってしまったりすることにあらためて気づかされました。その場にいた生徒の中にも私と同様に感じた人がいたと思います。自らが社会の主体者・構成者・当事者であるとの意識を高くもち、よりよい社会の創造に向けて邁進する国民・市民・住民に生徒が育ってくれることを願っています。

話し合いの上、生徒の総意として決めました

11月27日の後期生徒総会で校則の改定について決議されました。内容や実施時期などの詳細は既にお知らせしたとおりです。今回の改定では、「通学靴」「靴下」について事前に各学級で改定に向けた話し合いを行うなかで生徒各自が学校生活という場を鑑みて熟慮し、意見を出し合いました。具体的には「選択肢が増えるのはよいこと」「黒やグレー、紺色は汚れが目立たなくて助かる」といった改定に前向きな意見の他に「今、特に困っていないから靴も靴下も白色のままでよい」「一中としての統一感を出すために白・黒のみでよいのではないか」など様々な意見や考えが出されました。そして、各学級から出された意見を集約しつつ生徒の総意としてまとめたものが生徒会本部役員から発議され総会で承認されました。



総会で提議されましたが、『華美』の捉え方が各自に委ねられ TPO に即した適切な判断が求められることなど、自分たちで決めたことだからこその「重み」を生徒一人ひとりが感じたことと思います。今回の改定に伴い3学期以降、前述した「あなた次第です」がまさに問われますね。

人として豊かに生きていくために

12月10日の「世界人権デー」に合わせ、本校では11月下旬から12月上旬にかけて、人権に関わる集中学習に取り組んでおります。その間、各生徒は人権標語を作成したり人権意識を高める動画を視聴したりしています。また、11月29日午後には、NTT docomoのメディアリテラシー担当者を講師として『人権講演会』をリモート形式で実施し、情報端末の適切な使用やSNSの望ましい活用方法に関わらせながら、自他の人権を尊重することの大切さをあらためて考える機会をもちました。

11月26日の朝には、人権がかけがえのない大切なものであることを実感するとともに人権尊重を言葉だけに留まることなく日々の生活の中で実践に移して欲しいと願いを込めて、次のことを生徒へ説いて自分のこととして受けとめられるよう話しました。

『自分がしてもらって嬉しかったことは、積極的に他人へ行って下さい。』

『自分がされて嫌だったことは、絶対に他人へ行ってはいけません。』

『世の中の全ての人^{ひと}が、かけがえのない特別な存在です。』

『自分も他人も同じです。互いの立場に思いを巡らせ、各々の存在を大切にしましょう。』

また、他人との関わりの中では、自他の権利を尊重し合える「良い意味での折り合い」を心がけることも時として必要と思います。

大切なことは不易であるとの信念のもと、昨年と同様なことを人権週間の校長講話として話しました。放送による講話でしたので、この話をしていた時の生徒の様子をうかがうことはできませんでした。しかし、全員が真剣に聞いて、これまでのことを思い出したりこれからの行動を決意したりするなど自分のこととして深く受けとめてくれていたであろうことを信じています。一中生には、学校生活のみならず、人として生きていく限り、人権尊重の精神をもち続け行動して欲しいと思っております。



心を元気にする方法を見つけよう

11月28日の6校時に、保健委員生徒の進行のもと各教室で電子黒板を活用して学校保健委員会が実施されました。

今年度は、『GENKI! FIRST!で元気をレベルアップ! パート2 ~自分の心の状態を知り、心を元気にする方法を見つけよう~』という、昨年度との継続性を重視しつつ、本校生徒の実態に即したテーマで行いました。今年度は特に『ストレス』を焦点化して取り上げ、ストレスが生じる原因や体に及ぼす影響などを明らかにしつつ、ストレスに対する上手な対処方法を探りました。また、ソーシャルサポートを紹介して、自分ひとりで抱え込まず他から支援してもらうことも対処の方法として大切であることを学びました。最後には、学校医や学校薬剤師の先生方からの専門的な見地に基づくアドバイスが伝えられました。



生徒は学校保健委員会での活動を通して、心の健康(心の元気)が活力ある学校生活を送る上で大切であることを学べたと思います。健康的な毎日が送れる生徒がたくさんいる第一中学校であって欲しいと願いつつ、学校保健委員会は終了しました。